

きゅうりタウン構想実現に向けた施設整備

(JAかいふ)

背景・課題

海部地域の特産物「促成きゅうり」を核として、就農希望の若い担い手を育成・確保し、産地面積や所得の倍増を目指す「きゅうりタウン構想」を実現するため、省エネ・低コスト・新技術を導入した施設整備が課題となっていた。

補助内容

- ◆対象期間：平成28年度～令和元年度※ 令和元年度は、別の単年度の企画提案型事業として補助
- ◆補助対象：(平成28年度)CO₂発生器、環境測定器等、(平成29年度)農業用ハウス、養液栽培設備等、(平成30年度)農業用ハウス、養液栽培設備等、(令和元年度)ミスト設備
- ◆補助金額：(平成28年度)1,258万円、(平成29年度)2,000万円、(平成30年度)2,000万円、(令和元年度)980万円

主な取組

- ◆「海部きゅうり塾」の研修終了者等を対象に、低コスト耐候性ハウスを整備。

レンタルハウス制度により、移住就農者の初期投資を軽減し、受入れ支援。

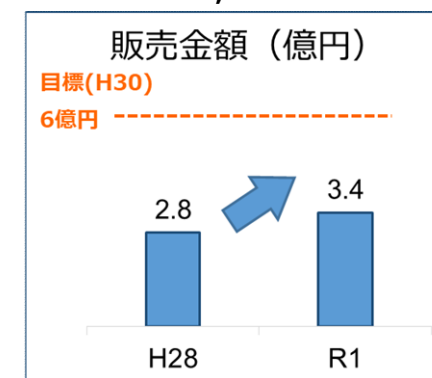
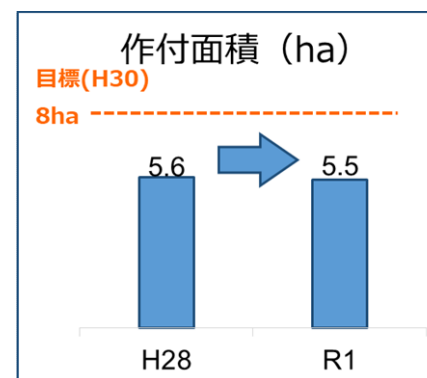


- ◆促成きゅうりの生産性向上、ハウス内の作業環境改善等を図るため、CO₂発生器、環境測定器、ミスト設備等を導入し、機能強化。



主な成果目標の達成状況

- ◆台風被害の影響等により、目標には至っていないが、累計17名の新規就農者を確保する等、着実に推進。



今後の取り組み

- ◆移住就農者の募集を継続するとともに、きゅうりの養液栽培技術の確立と新規就農者の定着を促進する。